

アクティブな脈動抑制器

3A7994D
JA

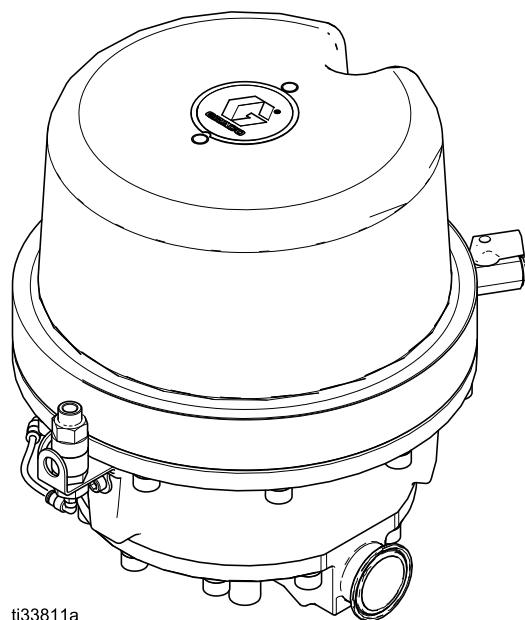
液体サージングを低圧流体システムで削減するため。圧縮エアでの操作のため。一般目的では使用しないでください。



重要な安全指示

本機器を使用する前に、本取扱説明書内のすべての警告と指示をお読みください。これらの指示は保管してください。

最高使用圧力および承認範囲を含むモデル情報については2ページを参照してください。



ti33811a

Contents

モデル.....	2	サプレッサーを充電.....	11
警告.....	3	トラブルシューティング.....	12
取り付け.....	6	修理/サービス.....	13
一般情報.....	6	ダイアフラム修理キットの取り付け.....	13
接地.....	6	部品.....	15
ホース接地の連続.....	7	キット.....	17
洗浄の安全性.....	7	ダイレクト取り付けキット、18A983.....	17
取り付け.....	9	床/壁取り付け脈動抑制器、18A984.....	18
プリーザーバルブの取り付けの要件.....	9	フロアスタンドアダプターキット、	
プリーザーバルブ.....	9	18A985.....	19
エアラインの接続.....	10	寸法と取り付け穴配置.....	20
液体のインレットポートとアウトレット		技術仕様.....	21
ポート.....	10	California Proposition 65.....	21
液体ラインとアクセサリ.....	10		
操作.....	11		
圧力開放手順.....	11		

モデル

部品番号	説明	最高液体使用圧力
17W739	サニタリートリクランプの SST 1.5	300 psi (2.1 MPa, 21 bar)

承認:



II 2 G Ex h IIB T6 Gb

警告

以下の警告は、本装置の安全な設定、使用、接地、保守および修理に関するものです。感嘆符のシンボルは一般的な警告を、危険シンボルは手順自体の危険性を知らせます。これらのシンボルが、この取扱説明書の本文に表示された場合、戻ってこれらの警告を参照してください。このセクションにおいてカバーされていない製品固有の危険シンボルおよび警告は、必要に応じて、この取扱説明書の本文に表示される場合があります。

 警告：	
   	<p>火災と爆発の危険性</p> <p>作業場に、溶剤や塗料から揮発したような可燃性の気体が存在すると、火災や爆発の原因となることがあります。装置を通して流れている塗料や溶剤は静電気火花の原因となることがあります。火災と爆発を防止するために：</p> <ul style="list-style-type: none"> 装置は、換気の良い場所でのみご使用ください。 表示灯やタバコの火、懐中電灯およびプラスチック製シート (静電スパークが発生する恐れのあるもの) などのすべての着火源は取り除いてください。 作業場にあるすべての装置を接地してください。接地の指示を参照してください。 溶剤を高压でスプレーしたり洗浄したりしないでください。 溶剤、雑巾およびガソリンなどの異物を作業場に置かないようにしてください。 可燃性の気体が充満している場所で、電源コードの抜き差しや電気スイッチのオン/オフはしないでください。 接地されたホースのみを使用してください。 ペール缶に向けて引き金を引く場合、ガンを接地されたペール缶の縁にしっかりと当ててください。静電対策されているか、導電性である以外のペール缶ライナーは使用しないでください。 静電火花が発生するか、ショックを感じた場合は運転を直ちに中止してください。問題を特定し、解決するまでは、装置を使用しないでください。 作業場には消火器を置いてください。
  	<p>加圧された装置の危険性</p> <p>装置、漏れまたは破裂した構成部品から出た流体は目または皮膚に飛び散り、重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> スプレー/吐出を中止する場合、または装置の洗浄、点検、整備を行う前には、圧力開放手順に従ってください。 装置を操作する前に、液体の流れるすべての接続箇所をよく締めてください。 ホース、チューブ、およびカップリングを毎日点検してください。摩耗または損傷した部品は直ちに交換してください。



警告：



装置誤用による危険

誤用は死あるいは重篤な怪我の原因となります。





- 疲労しているとき、または薬物の服用した状態や飲酒状態では装置を操作しないでください。
- システム内で耐圧または耐熱定格が最も低い部品の、最高使用圧力または最高使用温度を超えないようにしてください。全ての装置の説明書の**技術仕様**を参照してください。
- 装置の接液部に適合する液体と溶剤を使用してください。全ての装置の説明書の**技術仕様**を参照してください。液体と溶剤の製造元の警告を参照してください。使用している材質に関する詳しい情報については、販売代理店または小売店から安全データシート (SDS) を取り寄せてください。
- 機器が通電中あるいは加圧中の場合は作業場を離れないでください。
- 装置の使用を終了する場合は、すべての装置の電源を切断し、**圧力開放手順**に従ってください。
- 毎日、装置を点検してください。製造元純正の交換用部品のみを使用し、磨耗または破損した部品を直ちに修理または交換してください。
- 装置を改造しないでください。装置を改造または変更すると、担当機関からの承認が無効になり、安全上の問題が生じる場合があります。
- 全ての装置が、それらを使用する環境用に格付けおよび承認されていることを確認してください。
- 装置を定められた用途以外に使用しないでください。詳しくは販売代理店にお問い合わせください。
- ホースとケーブルは通路、鋭利な先端、可動部品、高温の表面からは離してください。
- ホースをねじったり、過度に曲げたり、ホースを使用して装置を引き寄せたりしないでください。
- 子供や動物を作業場から遠ざけてください。
- 適用されるすべての安全に関する規制に従ってください。
- 加圧中の装置は持ち上げないでください。



加圧状態のアルミニウム合金部品使用の危険性

加圧された装置内でアルミニウムと混合不可能な硫体を使用した場合、深刻な化学反応や装置の破裂を引き起こすことがあります。この警告に従わない場合、致死や重傷、物的損害をもたらす可能性があります。

- 1,1,1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素溶剤、またはこれらを含む硫体は使用しないでください。
- 漂白剤を使用しないでください。
- 他の多くの流体も、アルミニウムと反応する恐れのある化学物質を含んでいる場合があります。適合性については、材料供給元にお問い合わせください。

 警告：	
 	<p>有毒な液体または蒸気の危険性</p> <p>有毒な液体や気体が目に入ったり、皮膚に付着したり、それらを吸い込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全データシート (SDS) を参照して、使用している流体固有の危険性を知っておいてください。 排気ガスは作業場から離れた場所へ送ってください。ダイアフラムが破裂した場合、液体が空気中に飛び散る可能性があります。 危険な流体は保管用として許可された容器に保管し、廃棄する際には適用されるガイドラインに従ってください。
	<p>個人用保護具</p> <p>作業場にいる際、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。保護具には以下のものが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護めがねと聴覚保護。 液体および溶剤の製造元が推奨するマスク、保護衣および手袋。

取り付け

一般情報

- **代表的な据付例** は、システムコンポーネントおよびアクセサリの取り付け用ガイドに過ぎません。これは実際のシステム設計とは異なります。使用目的に合ったシステムの設計については、Graco 販売代理店にお問い合わせください。
- 必ず Graco 販売代理店を通して入手した純正の Graco 製の部品およびアクセサリを使用してください。お手持ちのアクセサリを使用される場合は、お持ちのシステムに適切なサイズおよび定格圧力であるかをご確認ください。
- カッコ内の参照番号と文字は、図および部品リストの参照番号に対応しています。

接地

				
<p>静電気火花による危険性を抑えるため、装置は必ず接地してください。静電気火花によって、気体の引火または爆発が生じることがあります。接地することで、配線を通して電流を逃すことができます。</p>				

サプレッサーとシステム全体を接地してください。

サプレッサー、およびスプレーエリア内で使用する、またはエリア内に配置されているすべての他のスプレー装置を接地してください。基本的なスプレーシステムの最低接地条件は下記の通りです。システムには、他にも接地の必要がある装置や物体が含まれる可能性があります。接地の指示の詳細については、地域の電気関連法令を常に確認してください。システムは大地アースに接続されている必要があります。

- **ポンプ:** 別個のポンプ取扱説明書中に記載されている方法に従って、接地線とクランプを使用してください。
- **エアコンプレッサと油圧駆動源:** 製造元の推奨に従います。
- **エアラインと液体ライン:** 接地の導通を確保するために、総延長最高 150 m (500 ft) の接地されたホースのみを使用してください。「[ホース接地の連続](#)」, page 7 を参照してください。

- **脈動抑制器:** 接地線およびクランプを使用します。接地ネジ (19) を緩めます。最小断面積 12 ga (1.5 mm²) の接地線 (M) の一方の終端を接地ネジの背部に挿入し、ネジをしっかり締めます。接地線のクランプ側を真のアースに接続します。接地線とクランプは、部品番号 222011 をご注文ください。
- **スプレーガン:** 適切に接地された液体ホースおよびポンプに接続することによって接地します。
- **スプレー作業の対象物:** 地域の規制に従ってください。
- **液体供給容器:** 地域の規制に従ってください。
- **洗浄時に使用するすべての液体ペール缶:** 地域の規制に従ってください。接地済みの場所に置かれた導電性の金属ペール缶のみを使用してください。接地の導通を妨げる紙や段ボールのような導電性でない場所にペール缶を置かないでください。
- 洗浄時または圧力の開放時に接地の導通を維持するには、常に、ガンの金属部分を接地済みの金属ペール缶の側面にしっかりと接触させて、ガンの引き金をひきます。

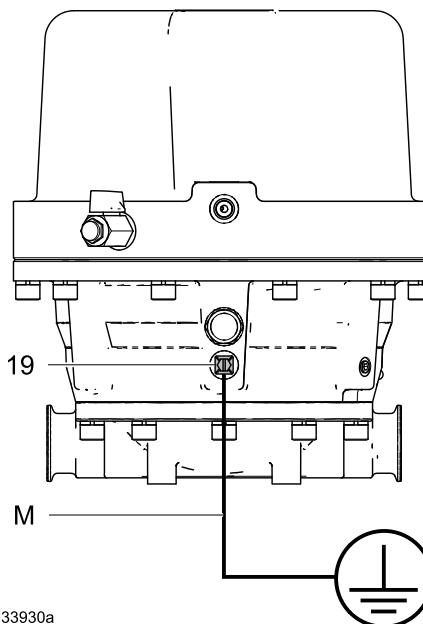


Figure 1 サプレッサーの接地

ホース接地の連続

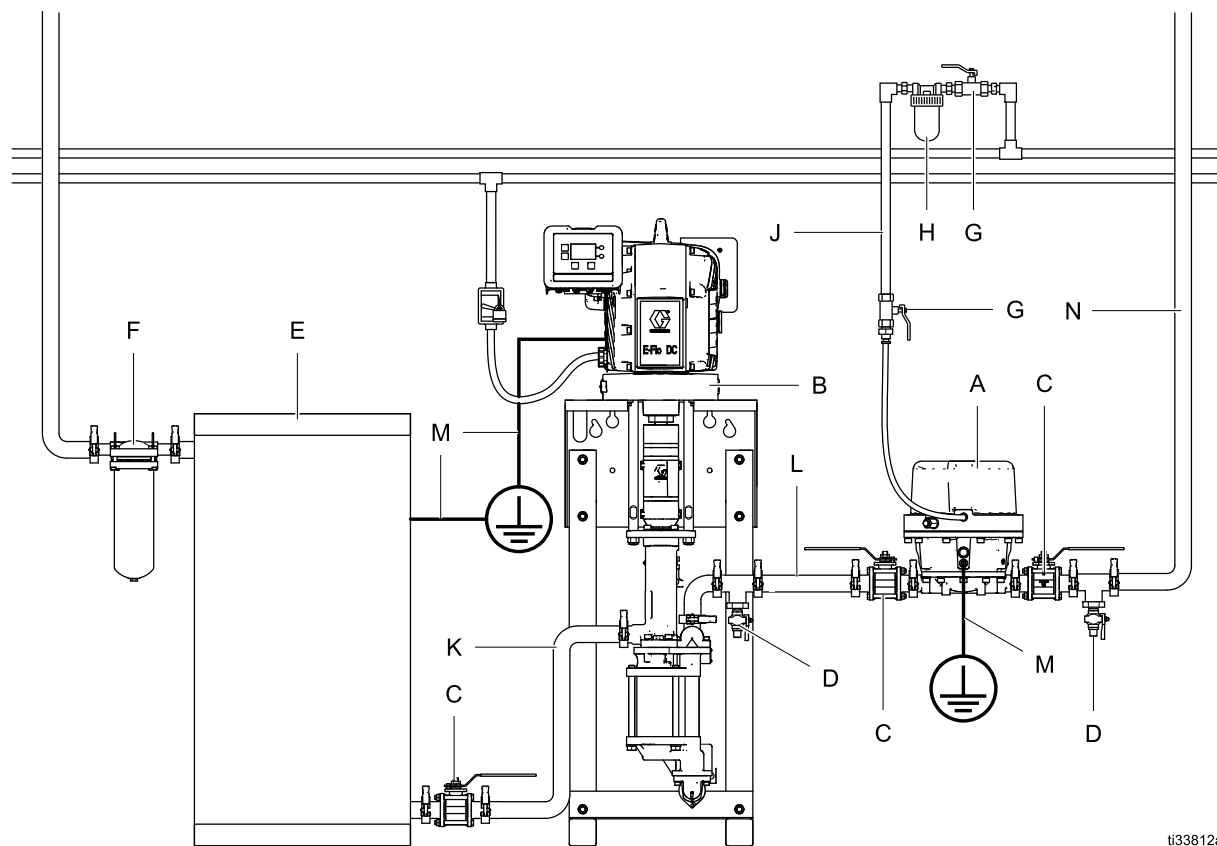
適切なホース接地の連続を確保することが、接地されたスプレーシステムを維持する上で不可欠です。お使いのエアホースと液体ホースの電気抵抗を少なくとも1週間に一度は確認してください。ホースに最大電気抵抗を示すタグが付いていない場合、最大抵抗の制限値についてホース供給業者または製造元に連絡してください。抵抗をチェックするために、ホースに対して適切な範囲で抵抗メーターを使用してください。抵抗が推奨の制限値を上回っている場合、ホースをすぐに交換してください。

洗浄の安全性

洗浄前に、全体のシステムと洗浄用ペール缶が適切に接地されていることを確認します。[接地, page 6](#)を参照してください。

代表的な据付例

脈動抑制器は全てのアクセサリとは別に販売されています。フィルター、レギュレーター、金具、ホース等はシステム設定の可能性を示すために表示されています。



この取り付け例は、システムを選択し、設置する際のガイドに過ぎません。これは実際のシステム設計とは異なります。必要性に合ったシステムの設計の支援が必要な場合は、Graco 販売代理店にご相談ください。

キーポイント

- | | | | |
|---|-----------------|---|------------------|
| A | 脈動抑制器 | H | エアフィルター |
| B | ポンプ | J | 脈動抑制器へのエアライン |
| C | 液体遮断バルブ | K | ポンプインレット液体ライン |
| D | 液体ドレンバルブ* | L | ポンプアウトレット液体ライン |
| E | 混合タンク | M | 接地線 |
| F | 液体フィルタ | N | 脈動抑制器アウトレット液体ライン |
| G | ブリード型マスターエアバルブ* | | |

* 安全な操作のために必要です。別に購入する必要があります。

取り付け

アクティブな脈動抑制器は垂直に取り付ける必要があります。詳細については、[寸法と取り付け穴配置, page 20](#)を参照してください。

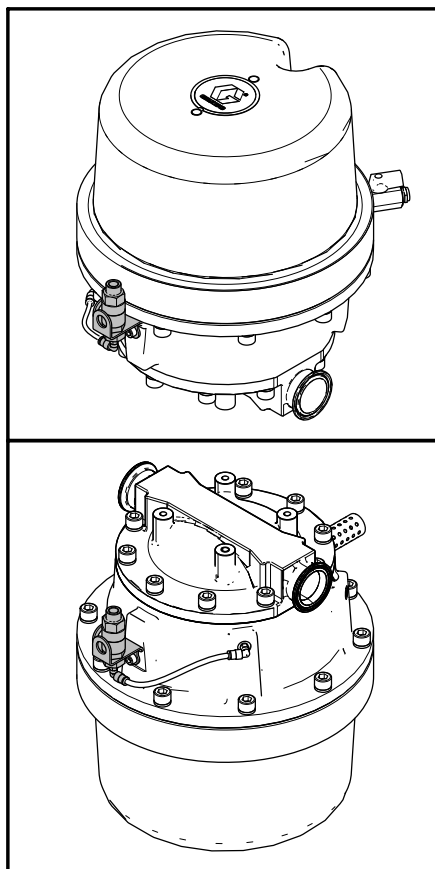
3つの取り付けキットを利用できます。

- [ダイレクト取り付けキット, 18A983, page 17](#)
- [床/壁取り付け脈動抑制器, 18A984, page 18](#)
- [フロアスタンドアダプターキット, 18A985, page 19](#)

ブリーザーバルブの取り付けの要件

ブリーザーバルブが正しく機能するためには垂直位置に搭載されなければなりません。ブリーザーバルブ搭載ブラケットは、垂直搭載のために必要なバルブの再配置を許容します。

ブリーザーバルブシステムはダイアフラムの裂け目を示します。裂け目が生じた場合は、作業流体はダイアフラムを通過してダイアフラムの裏側に漏れます。次に流体は透明なチューブに流入してブリーザーバルブに入ります。ブリーザーバルブは流体のサプレッサーからの流出を防ぎます。



ti33818a

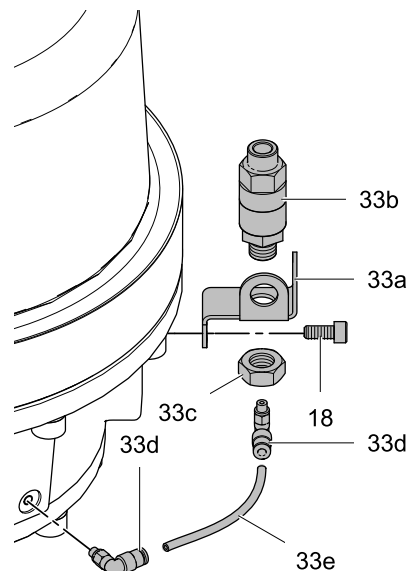
Figure 2 ブリーザーバルブ搭載位置の可能性

ブリーザーバルブ

1. ブリーザーバルブ (33b) をジャムナット (33c) 付き取り付けブラケット (33a) で組み立てます。8 ~ 10 ft-lb (11 ~ 14 N m) のトルクで締めます。エア金具 (33d) をブリーザーバルブ (33b) にネジで留めます。

Note

ブリーザーバルブシステムの組立前にブリーザーバルブを垂直に立ててテストし、クリアランスを確認してください。搭載ブラケットには数通りのブリーザーバルブ搭載構成の可能性があります。



ti33931a

2. アセンブリをネジ (18) を使用してエアカバー (13) に取り付けます。

Note

正しい操作のためには、ブリーザーバルブアセンブリはブリーザーバルブが垂直方法に搭載および設置されていなければなりません。[図 2](#)の説明で、搭載構成の可能性をいくつか確認してください。

3. チューピング (33e) を金具 (33d) に接続してブリーザーバルブアセンブリを完成させてください。

エアラインの接続

脈動抑制器で最適なパフォーマンスを確保するために、以下の点に注意してください。

- インレットポートとアウトレットポートのサイズ: 各ポートは直径が 1.5 インチです。
- エアラインのサイズ: 1/4 インチ npt より小さなエアラインを使用しないでください。
- エア圧力の量:
 - エア圧力は、液体圧力の少なくとも 1/3 である必要があります。
 - エア圧力は 100 psi (7 MPa、7 bar) を超えないようにする必要があります。

例:

- 液体圧力が 180 psd (1.2 MPa、12 bar) の場合、60 ~ 100 psi (.4 ~ .7 MPa、4 ~ 7 bar) からのエア圧力を使用してください。
- 液体圧力が 220 psd (1.5 MPa、15 bar) の場合、73 ~ 100 psi (.5 ~ .7 MPa、5 ~ 7 bar) からのエア圧力を使用してください。

液体のインレットポートとアウトレットポート

どちらのポートも液体インレットとして使用できます。液体流量の方向はパフォーマンスに影響しません。寸法と取り付け穴配置, [page 20](#) を参照してください。

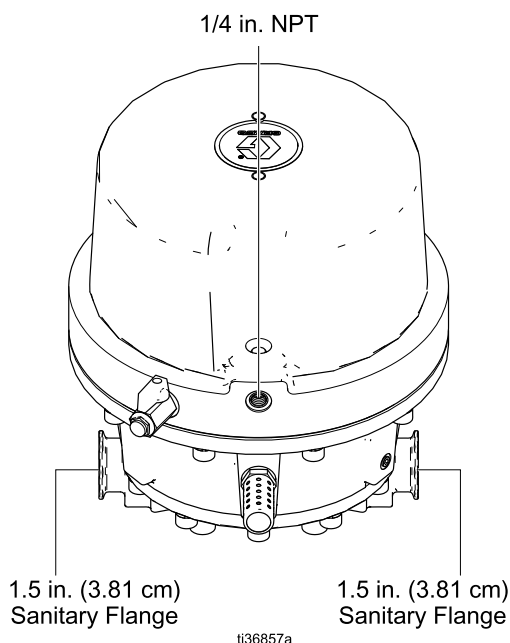


Figure 3 脈動抑制器のポート

液体ラインとアクセサリー

適切なラインのサイズ設定はシステムの重要な部分となります。支援をお求めの場合は、Graco 販売代理店にお問い合わせください。システムを通じて適切な流量を確保するには、適切なサイズの配管を使用してください。

ポンプとサブレッサーの間で少なくとも 25 mm (1 in.) の直径のフレキシブルホースを使用し、サブレッサーの後ろでハードパイプかフレキシブルパイプを使用してください。

<p>液体ドレンバルブがシステムに必要です。これにより、圧力を開放するとき目や皮膚に液体がはねかかるといったことによる重大な怪我の危険や、有害な液体による汚染のリスクを減らすことができます。液体ドレンバルブを開くことにより、システムをオフにした後に、脈動抑制器、ポンプ、ホース、ガンの圧力を開放します。ガンの引き金を引いて圧力を取り除くだけでは、十分ではないことがあります。</p>				

1. 脈動抑制器アウトレットの近くに液体ドレンバルブ (D) を取り付けます。
2. 脈動抑制器の点検時にその前後で隔離するために、液体遮断バルブ (C) を取り付けます。

Note

ダイレクト取り付けキット (18A983) の使用時に、液体遮断バルブ (C) を脈動抑制器の後ろに取り付けます。
([ダイレクト取り付けキット、18A983、page 17。](#))

操作

圧力開放手順



この記号が表示されている箇所では、圧力開放手順に従ってください。

--	--	--	--	--

本装置は、圧力が手動で解放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚や目などへの飛散など、加圧状態の液体から生じる重大な怪我を避けるには、ポンプの動作を止めた後および装置を清掃、点検、および整備する前に、**圧力開放手順**に従ってください。

- ポンプへの電力を遮断します。
 - 油圧システムでは、油圧遮断バルブを閉じます。
 - エア駆動のシステムでは、ポンプエアレギュレーターを閉じて、ブリード型マスターエアバルブ (システムで必須) を閉じます。
- 供給タンクからの液体遮断バルブを閉じます。
- 接地された金属ペール缶にガンの金属部分をしっかりと接触させます (使用される場合)。ガンの引き金を引いて圧力を開放します。
- 排出物を受ける容器を用意し、液体ドレンバルブ (システムで必須) を開きます。ドレンバルブを開く場合は、端から手を離してください。
- 使用再開の準備ができるまで、ドレンバルブは開いたままにしておいてください。
- 脈動抑制器のインレットに接続されているブリード型エアバルブを閉じてください。

- 脈動抑制器のエア圧力を開放する前に、液体圧力を開放していることを確認してください。

次の図に示されているように、脈動抑制器のエア開放バルブ (39) を開いてください。

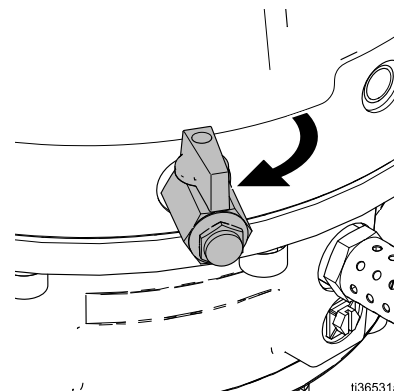


Figure 4 脈動抑制器の圧力解放バルブ

サブレッサーを充電

--	--	--	--	--

- サブレッサーに対してエアバルブを開きます。脈動抑制器が、エアチャージ圧力を自動的に最適なパフォーマンスに調整します。

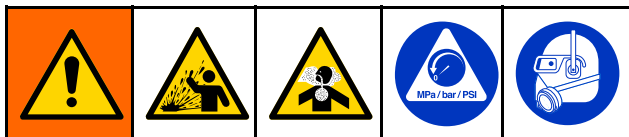
効果的に機能させるためには、エア圧力を液体圧力の少なくとも 1/3 にする必要があります。

Note

脈動抑制器の最高使用圧力は 300 psi (2.1 MPa、21 bar) です。液体ラインの圧力や関連サブレッサーのエア圧を上回らないようにしてください。

- ポンプの説明書で説明されているようにポンプをオンにしてください。

トラブルシューティング



- 脈動抑制器の点検または修理を行う前、あるいはシステムから脈動抑制器を取り除く前に、[圧力開放手順, page 11](#)に従ってください。
- 分解する前に、すべての考えられる問題と原因をチェックしてください。

問題	原因	解決策
脈動の減少が不良。	脈動抑制器が用途に対して小さすぎます。	使用液体圧力および/または流量を減らします。 大きな脈動抑制器モデルを設置します。
	チェックバルブが摩耗しているか、開いたまま保持されているため、ポンプの切り替え時間が延長されました。	ピストンポンプを修理します。
	ダイアフラムが破損しています。	ダイアフラムを交換します。
	ピストンOリングが磨耗しています。	ピストンシールを交換します。

修理/ サービス

ダイヤフラム修理キットの取り付け

ダイヤフラム修理キット (17X733) を利用でき、別途注文できます。部品, page 15 にある部品リストの脚注を参照してください。

				
<p>脈動抑制器の点検または修理を行う前、あるいはシステムから脈動抑制器を取り除く前に、圧力開放手順, page 11 に従ってください。すべての液体圧力およびエア圧力は、修正を試みる前に完全に開放する必要があります。</p>				

脈動抑制器の分解

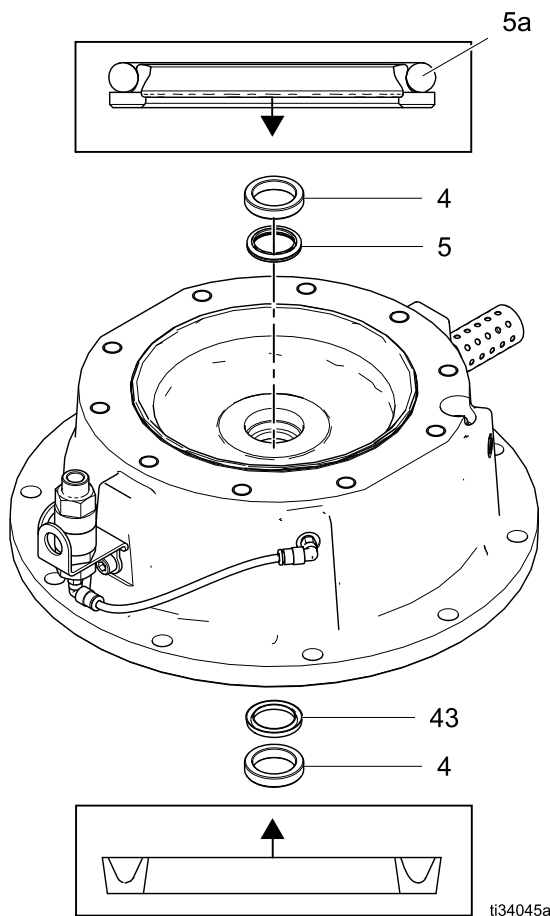
1. **圧力開放手順, page 11** に従って、液体圧力とエア圧力を開放してください。
2. アクティブな脈動抑制器ダイヤフラムを再構築する場合、ブリーザーバルブを交換してください。
 - a. 液体チューブ (33e) を取り外してください。
 - b. エア接続金具 (33d) を取り外してください。
 - c. ブリーザーバルブ (33b) を取り外すために、ベントの下部にあるナット (33c) を取り外してください。
3. 液体ハウジング (1) にネジで留められている液体取り付けのプレートまたはブラケットを取り外してください。
4. エアハウジングを分解してください。
 - a. キャップネジ (22) およびロックワッシャー (42) を取り外します。
 - b. ピストンハウジング (6) からエアカバー (13) を分離してください。ハウジングに取り付けられている加工されたフランジ面やコンポーネントを傷つけないように注意してください。
 - c. Oリング (41) を取り外します。
 - d. 供給エアパイロットバルブ (15) を取り外します。必要に応じて点検や交換を行います。100 ~ 120 in-lb のトルクで締めます。
 - e. 留めネジ (12) で 10 mm レンチを使用して、ピストンアセンブリ (P) を緩めます。ピストンアセンブリ (P) をピストンハウジング (6) から完全に取り除くために、ハウジングのチップを行ってください。
5. ピストン (9) の周りから Oリング (10) を取り外します。
6. 液体ハウジングを分解してください。
 - a. キャップネジ (22) を取り外してください。
 - b. ピストンハウジング (6) からエアカバー (1) を分離してください。
 - c. ダイヤフラム (2)、ダイヤフラムプレート (17)、ダイヤフラムワッシャー (3) を取り外してください。
 - d. シャフト Uカップシール (43) と Lカップシール (5) を点検してください。必要に応じて取り外します。ベアリング (4) は同じ箇所のままにしておくことができます。ベアリングに破損があり取り外しが必要な場合は、マイナスドライバーあるいは大型パンチャーを使用して反対側から押し出して下さい。

ピストンハウジング (6) の表面に損傷を与えないように注意を払ってください。

 - e. 供給エアパイロットバルブ (15) を取り外します。必要に応じて点検や交換を行います。100 ~ 120 in-lb のトルクで締めます。

脈動抑制器を再度組み立てる

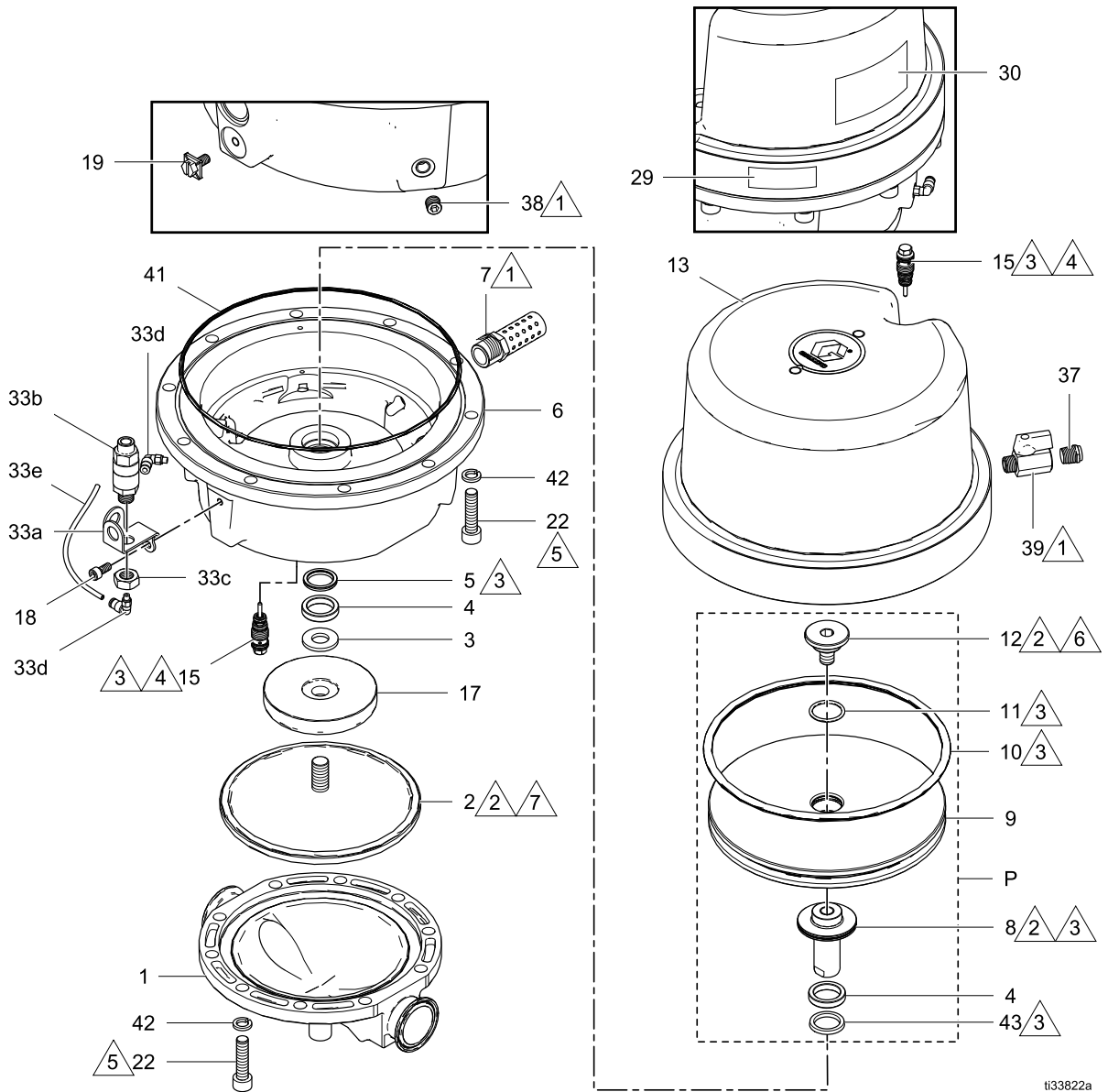
1. 液体ハウジングを再度組み立ててください。
 - a. ハウジング (6) をさかさまにして、液体側が上に来るようにしてください。
 - b. Lカップシール (5) にグリースを塗り、ハウジング (6) の下に挿入してください。シールの Oリング (5a) がダイアフラム (2) に向かって面するようにしてください。



- c. ベアリング (4) の1つをハウジング (6) に対して押し込み、Lカップシール (5) が液体側に保持されるようにしてください。
- d. ハウジング (6) をさかさまにして、エア側が上に来るようにしてください。
- e. Uカップ (43) にグリースを塗り、ハウジング (6) 内に設置します。Uカップ (43) の開いている端が、図に示されているように、液体側を向いているようにしてください。
- f. ベアリング (4) の1つをハウジング (6) に対して押し込み、Uカップシール (43) がエア側に保持されるようにしてください。

2. パイロットバルブ (15) に潤滑剤を塗って、ハウジング (6) の中に再度取付ます。100 ~ 120 in-lb のトルクで締めます
3. ハウジング (6) の内径にグリースを塗ってください。シャフト (8) がシャフトベアリング (4) を通過するように、ピストンアセンブリ (P) を挿入してください。
4. 青いネジロッカーをシャフト (8) の内部のネジに適用してください。
5. バッカバープレート (17) とワッシャー (3) をダイアフラム (2) のネジの上に挿入してください。
6. ダイアフラムアセンブリ (2) をピストンアセンブリ (P) のシャフト (8) にネジで留め、手で締めます。
7. 液体カバー (1) を取り付けます。インレットとアウトレットをハウジング (6) と揃えます。ネジ (22) を星のパターンで設置し、28 ~ 33 ft-lb (38 ~ 45 N m) のトルクで締めます。
8. 10 mm ソケットドライバーを使用して、ダイアフラムリテーナーネジ (12) を 75 ~ 85 ft-lb (102 ~ 115 N m) のトルクで締めます。
9. Oリング (41) をハウジング (6) に取り付けます。少量のグリースにより Oリングが所定の場所に保持されます。
10. エアカバー (13) とハウジング (6) を揃えます。ワッシャー (42) とネジ (22) を取り付け、エアカバーとハウジングを固定します。星のパターンで 15 ~ 20 ft-lb (20 ~ 27 N•m) のトルクで締めます。
11. ブリーザーバルブ (33b) と金具 (33d) を交換します。ブリーザーバルブ (33b) が垂直であることを確認します。ブリーザーバルブ, page 9 を参照してください。

部品



ネジシーラントを取り付けます。



青いネジロッカーを塗ります。



グリースを塗ります。



100 ~ 120 in-lb (11 ~ 14 N・m) のトルクで締めます。



28 ~ 33 ft-lb (38 ~ 45 N・m) のトルクで締めます。



75 ~ 85 ft-lb (102 ~ 115 N・m) のトルクで締めます。



15 ~ 20 ft-lb (20 ~ 27 N m) のトルクで締めます。

部品

参照	部品	説明	数量
1	17T216	カバー、液体	1
2*	—	ダイヤフラム、オーバーモールド	1
3	17B546	ワッシャー	1
4*	—	ベアリング、シャフト	2
5*	—	パッキン、Lカップ	1
6	17W897	ハウジング、加工ボディ脈動抑制器	1
7	15M940	マフラー、エアバルブ、メディアム	2
8	16X308	シャフト、ポンプ	1
9	16X310	ピストン、ヘルパー	1
10*	—	パッキン、Oリング	1
11	107204	パッキン、Oリング	1
12	17T219	ネジ、保持ピストン	1
13	17W896	カバー、エア	1
15	247391	バルブ、パイロット/ポペット	2
17	17S448	プレート、バッカー	1
19	116343	ネジ、接地	1
22*	—	ネジ、M10 x 30 x 1.5	20
30▲	188621	ラベル、警告	1

参照	部品	説明	数量
33a●	—	ブラケット、取り付けバルブ	1
33b●	—	バルブ、ブリーザー	1
33c●	—	ナット	1
33d●	—	金具、オススイベル、エア	2
33e●*	—	チューブ、5/32 OD ナイロン、4.5 インチにカット済み	1
37	121021	マフラー、1/4 npt	1
38	—	プラグ、パイプ	1
39	15B565	バルブ、ボール	1
41*	—	Oリング	1
42	16K738	ワッシャ、スプリットロック、M10	20
43*	—	パッキン、Uカップ	1

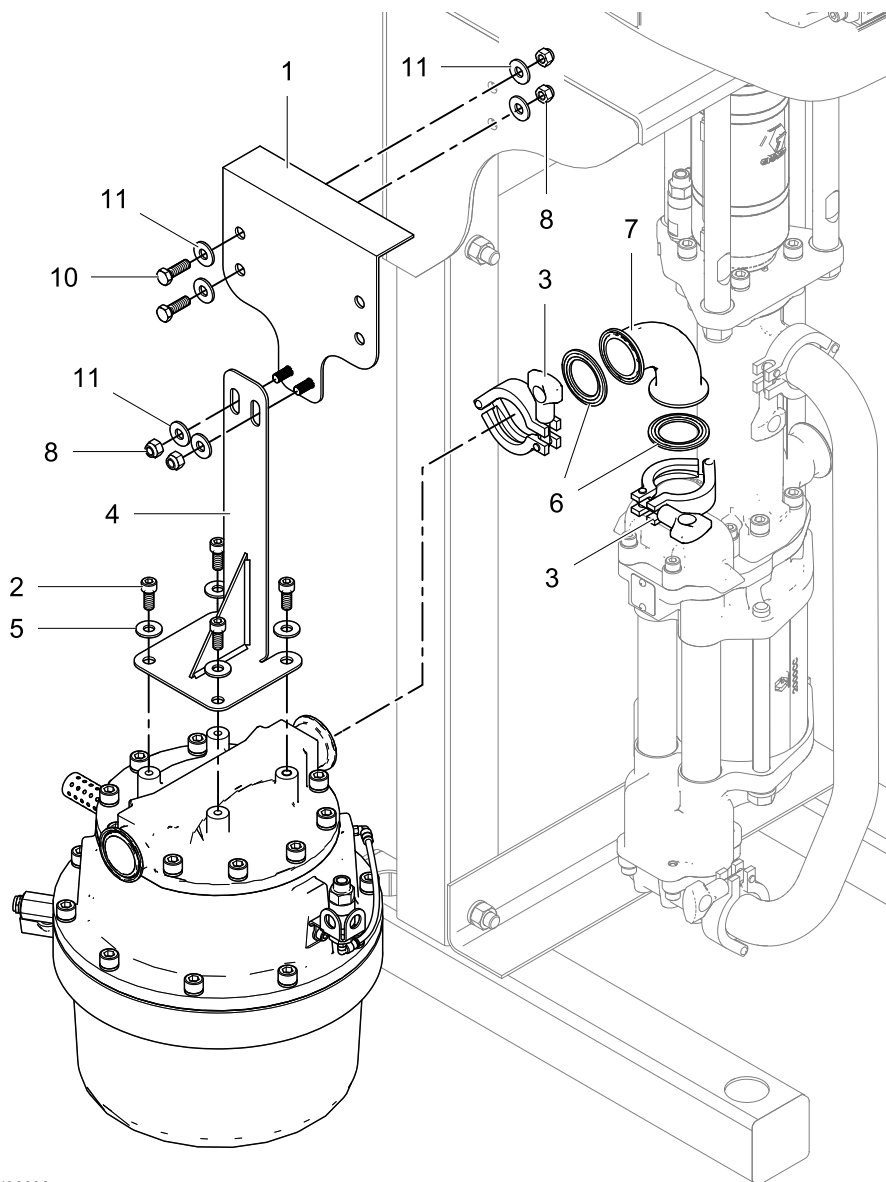
▲ 交換用の危険性と警告ラベル、タグ、およびカードは無料で入手できます。

● ブリーザーバルブキット 17X529 に含まれています。

*ダイヤフラム修理キット 17X733 に含まれています。

キット

ダイレクト取り付けキット、18A983



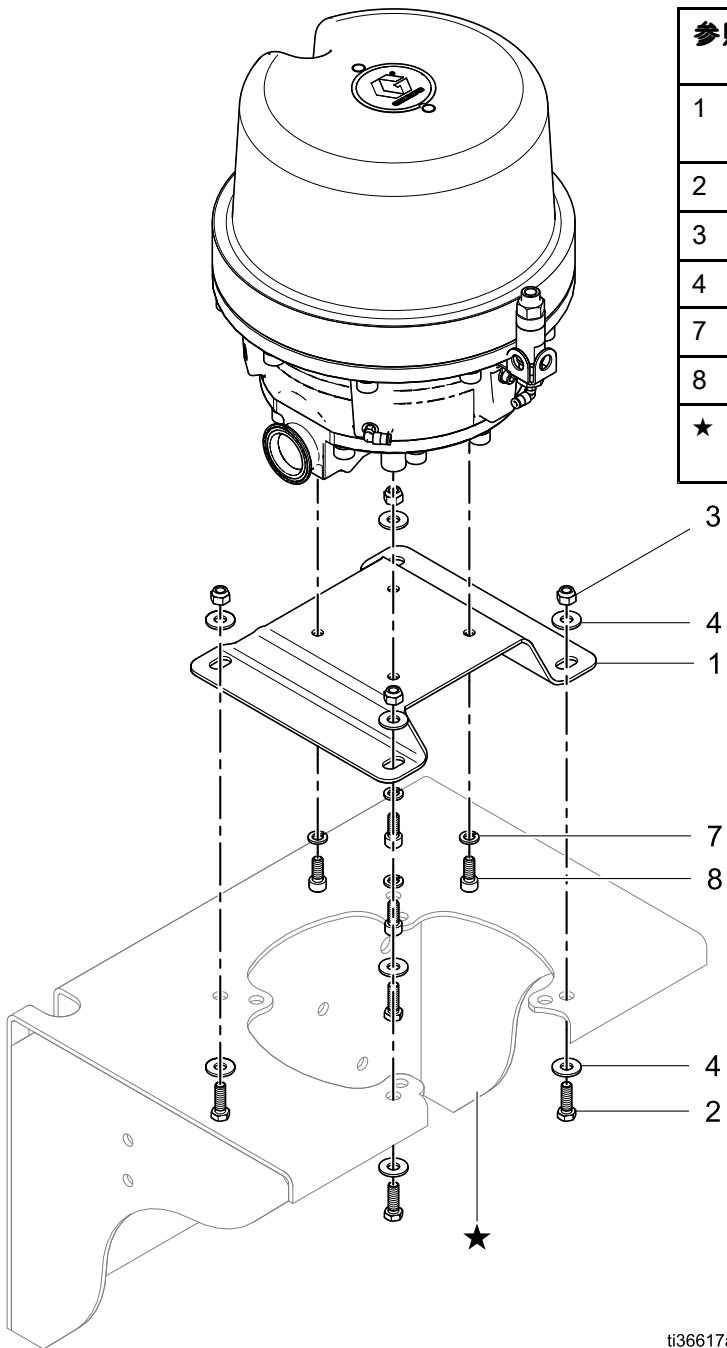
ti36636a

参照	部品	説明	数量
1	—	ブラケット、スタンド、アダプター	1
2	—	ネジ、M8x20	4
3	118598	クランプ、サニタリー	2
4	—	ブラケット、スタンド	1
5	—	ワッシャー、ロック	4

参照	部品	説明	数量
6	120351	ガスケット、サニタリー	2
7	51A796	エルボー、90度、サニタリー	1
8	—	ナット、ロック	4
10	—	ネジ、キャップ	2
11	—	ワッシャー、フラット	6

キット

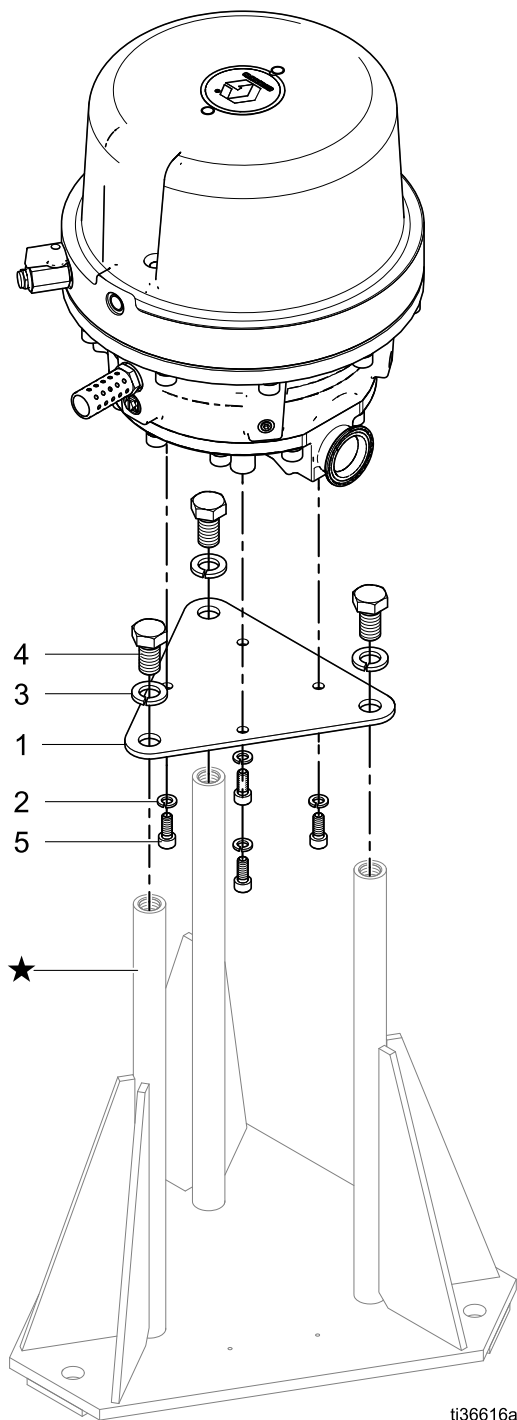
床/壁取り付け脈動抑制器、18A984



参照	部品	説明	数量
1	—	ブラケット、取り付けサージタンク	1
2	—	ネジ、キャップ	4
3	—	ナット、ロック	4
4	—	ワッシャー、フラット	8
7	—	ワッシャー、ロック	4
8	—	ネジ、M8x20	4
★	255143	壁ブラケットが含まれていません	—

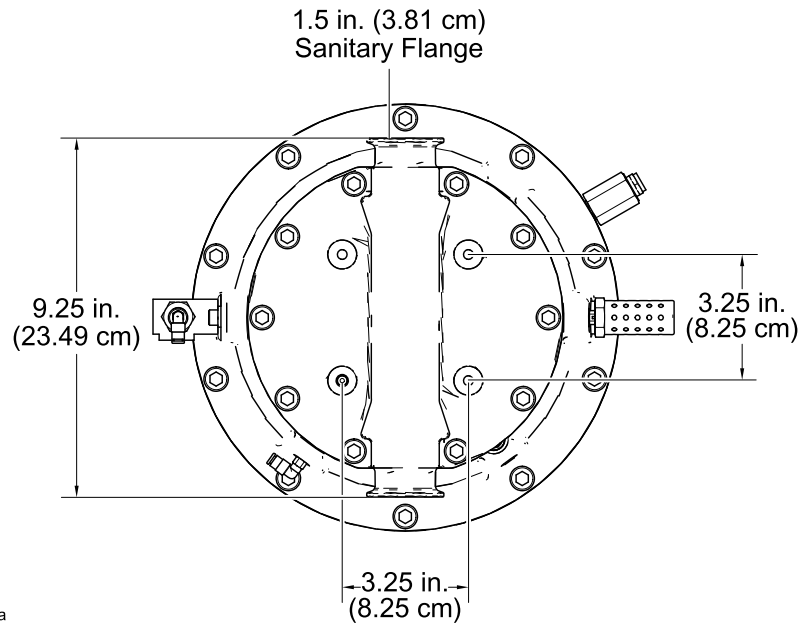
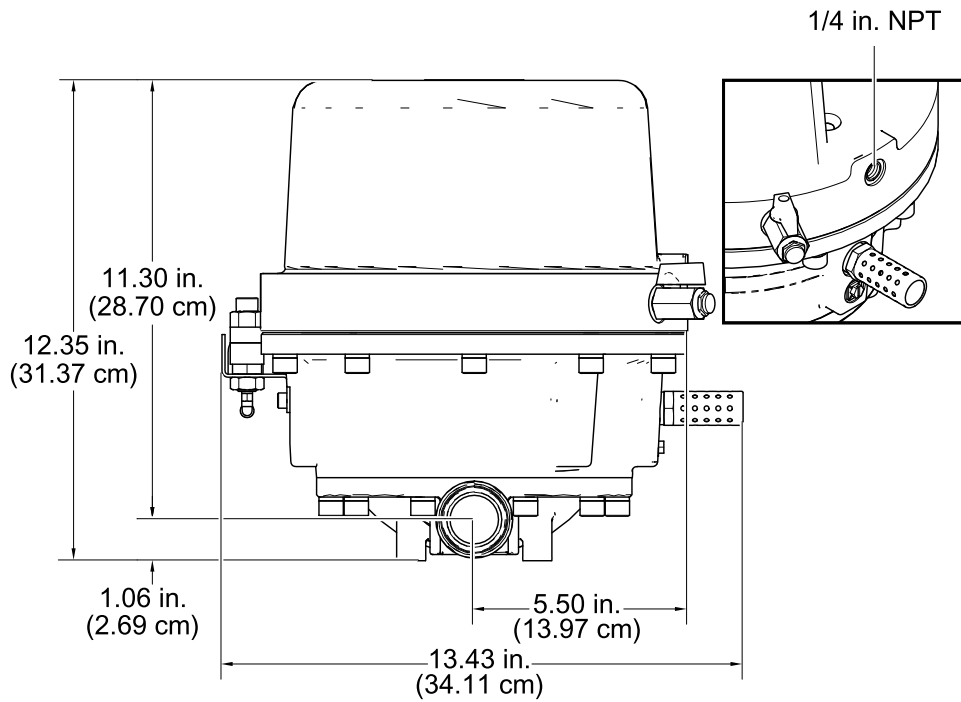
ti36617a

フロアスタンドアダプターキット、18A985



参照	部品	説明	数量
1	—	ブラケット、アダプター	1
2	—	ワッシャー、ロックスプリング	4
3	—	ワッシャー、ロックスプリング	3
4	—	ネジ、M16x30	3
5	—	ネジ、M8x20	4
★	218742	フロアスタンドが含まれていません	—

寸法と取り付け穴配置



ti33829a


技術仕様

	米国	メートル法
最大液体インレット圧力	300 psi	2.1 MPa、21 bar
最大液体レギュレーター圧力	300 psi	2.1 MPa、21 bar
最大エアチャージ圧力	100 psi	0.7 MPa、7 bar
最大流量*	10 gpm (単一のポンプ)	37.8 lpm
	20 gpm (E-Flo DC 2x)	75.7 lpm
最大動作温度	120° F	50° C
接液部品	304 ステンレス鋼、PTFE	
重量	35 lb	15.9 kg

* 最大流量は最高の性能を得るために推奨される最高値です。これらの値を上回ると、脈動抑制器の脈動機能が低下します。

California Proposition 65

カリフォルニア州居住者

 **警告:** 発がんおよび生殖への悪影響 — www.P65warnings.ca.gov.

Graco 標準保証

Graco は、直接お買い上げいただいたお客様のご使用に対し、販売日時から、本ドキュメントに記載された、Graco が製造し、かつ Graco の社名を付したすべての装置の材質および仕上がりに欠陥がないことを保証します。Graco 社により公表された特殊な、拡張的または制限的保証を除き、販売日時から起算して 12 か月間、Graco 社により欠陥があると判断された装置の部品を修理、交換いたします。本保証は、Graco 社の明示の推奨に従って、装置が設置、操作、および保守されている場合にのみ有効です。

誤った設置、誤用、摩擦、腐食、不十分または不適切なメンテナンス、過失、事故、改ざん、または Graco 製でない構成部品の代用が原因で発生した一般的な摩耗、あるいは誤動作、損傷、摩耗については、本保証の範囲外であり、Graco は一切責任を負わないものとします。また、Graco の装置と Graco によって提供されていない機構、アクセサリ、装置、または材料の不適切、あるいは Graco によって提供されていない機構、アクセサリ、装置、または材料の不適切な設計、製造、取り付け、操作またはメンテナンスが原因で発生した誤動作、損傷、または摩耗については、Graco は一切責任を負わないものとします。

本保証は、Graco 社販売代理店に、主張された欠陥を確認するために、欠陥があると主張された装置が前払いで返却された時点で、条件が適用されます。主張された欠陥が確認された場合、Graco 社はすべての欠陥部品を無料で修理または交換します。装置は、輸送料前払いで、直接お買い上げいただいたお客様に返却されます。装置の検査により材料または仕上がりの欠陥が明らかにならなかった場合は、修理は妥当な料金で行われます。料金には部品、労働、および輸送の費用が含まれる可能性があります。

本保証は唯一のものであり、明示的、黙示的を問わず、商品性の保証、または特定用途への適合性の保証など、その他の保証に代わるものです。

保証違反の場合の Graco 社のあらゆる義務およびお客様の救済に関しては、上記規定の通りです。購入者は、他の補償(利益の損失、売上の損失、人身傷害、または器物破損による偶発的または結果的な損害、または他のいかなる偶発的または結果的な損失を含むがこれに限定されるものではない)は得られないものであることに同意します。保証違反に関連するいかなる行為も、販売日から起算して 2 年以内に提起する必要があります。

Graco 社によって販売されているが、製造されていないアクセサリ、装置、材料、または構成部品に関しては、Graco 社は保証を負わず、特定目的に対する商用性および適合性のすべての黙示保証は免責されるものとします。 販売されているが Graco 社によって製造されていないアイテム(電動モーター、スイッチ、ホースなど)がある場合、それらのメーカーの保証の対象となります。Graco 社は、これらの保証違反に関する何らかの主張を行う際は、合理的な支援を購入者に提供いたします。

いかなる場合でも、Graco 社は Graco 社の提供する装置または備品、性能、または製品の使用またはその他の販売される商品から生じる間接的、偶発的、特別、または結果的な損害について、契約違反、保証違反、Graco 社の過失、またはその他によるものを問わず、一切責任を負わないものとします。

GRACO カナダのお客様の場合

当事者は、現在および将来のドキュメント、通知、および直接間接に締結、提供または実施される法的手続が英語で作成されることに同意したものと見なされます。Les parties reconnaissent avoir convenu que la rédaction du présente document sera en Anglais, ainsi que tous documents, avis et procédures judiciaires exécutés, donnés ou intentés, à la suite de ou en rapport, directement ou indirectement, avec les procédures concernées.

Graco に関する情報

Graco 製品についての最新情報入手先: www.graco.com。

特許についての情報入手先: www.graco.com/patents。

注文については、Graco 販売代理店にお問い合わせください。または、電話にて最寄りの販売代理店をご確認ください。

電話:612-623-6921 または無料通話: 1-800-328-0211 ファックス:612-378-3505

本文書に含まれる全ての文字および図、表等によるデータは、出版時に入手可能な最新の製品情報を反映しています。

Graco はいかなる時点においても通知することなく変更を行う権利を保持します。

原文の説明書。This manual contains Japanese。MM 3A6103

Graco 本社: ミニアポリス

海外拠点: ベルギー、中国、日本、韓国

GRACO INC. GRACO INC. および子会社 • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA

Copyright 2019, Graco Inc. Graco のすべての製造場所は ISO 9001 に登録されています。

www.graco.com
改訂 D、2021 年 6 月